

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	竹林マップ作成と竹林整備及び利活用事業
事業主体 (連絡先)	喬木村 下伊那郡喬木村6664番地
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ウ 森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	8,474,000 円 (うち支援金: 5,000,000 円)

事業内容

喬木村の大きな課題のひとつである放置竹林の整備、利活用を、協働により更に推進するためのリーダー的人材育成を実施。

- ・竹林マップの作成委託: 7~2月(村内全域)
- ・竹林整備講習会の開催: 11月23日、2月18日(2箇所) 38名参加
- ・メンマづくり講習会の開催: 2月25日(2箇所)、3月2日 44名参加
- ・モデル竹林整備の事業委託: 7~2月(3箇所)

事業効果

- ①竹林マップの作成委託
村内全域における竹林マップを作成し、主要3種の分布状況を把握することができた。今後成果品を地域に配布し地域ごとの竹林整備や維持管理に係る意見を反映した村全体の整備方針策定に繋げる。
- ②竹林整備講習会の開催
竹炭づくり1回、安全対策2回の講習会を開催した。今後の地域住民による竹林整備や利活用のリーダー的人材育成に繋がった。
- ③メンマづくり講習会の開催
事業開始がたけのこシーズンに間に合わなかったため座学により開催した。竹を切り捨てるだけでなく食材としても活用できることを地域住民に周知することができた。
- ④モデル竹林整備の事業委託
人目につく竹林を整備したことにより、地域住民に関心を持ってもらうことができた。今度の協働による竹林整備推進に繋げたい。

今後の取り組み

- ・竹林マップを活用して、地域における竹林整備や維持管理に対する意見を聴取し、村としての竹林管理方針の策定に取り組む。
- ・竹林整備やメンマづくりの講習会を地域単位の小規模開催することにより、地域住民に身近な課題として捉えてもらうと共に食材として活用することにより、女性も交えた協働による竹林の活用に取り組む。
- ・モデル竹林整備をフィールドに、環境教育や竹炭づくりなど、これまでにない竹林の利活用について取り組む。



【竹林整備講習会の様子】
【目標・ねらい】

- ①村内全域における竹林の種類別分布状況をマップで把握
- ②協働による竹林整備を安全に行うためのリーダー的人材育成
- ③協働による竹林管理を食材と繋げ活用するためのリーダー的人材育成
- ④目につく場所の竹林を整備することによる地域住民の関心を高める

※自己評価【 C 】

【理由】

- ・村内の竹林分布状況を可視化することができた
- ・講習会を受講したことにより安全に竹林整備が行えるようになった
- ・講習会を受講することにより女性にも関心を持ってもらえた
- ・目につく場所での竹林整備により住民の関心が高まった